

# 価値あるツールで 組織を強化

インタビュー

リックソフト株式会社

<https://www.ricksoft.jp/>

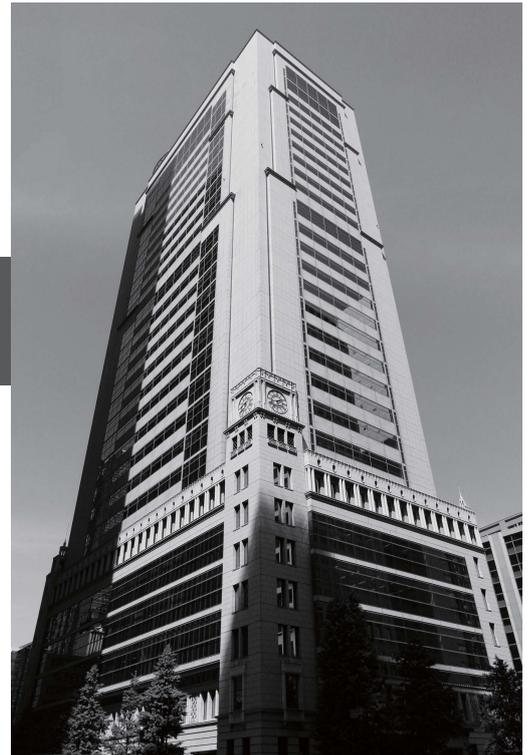
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-1-1 大手町野村ビル8階

・事業内容：ライセンス&amp;SIサービス／クラウドサービス／ソフトウェア開発

・設立：2005年1月

・資本金：2億2,510万円

・拠点：西日本支社（愛知県）、アメリカ法人（サンフランシスコ）



## プロセス管理にコンテンツ管理をプラス

リックソフト株式会社は、2005年に現社長の地元・茨城県龍ヶ崎市に有限会社として起業しました。オープンソース事業を生業としており、事業展開をする過程でアトラシアン<sup>1</sup>製品に出会い、取り扱いを決めました。アトラシアン製品は、迅速かつ適応的にソフトウェア開発を行う（アジャイル開発）アプリケーション開発やサービス運用を行う組織に対して、生産性向上を支援するためのソフトウェア群です。2009年にはアトラシアンとパートナー契約を結び、そこから当社の急成長は始まりました。

当社の成長率はとても高く、2018年2月にアジアパシフィック急成長企業1000社（FT1000 High-Growth Companies Asia-Pacific）の128位という荣誉ある賞をいただきました。3年前までは20数名だった社員は今年で、96名にもなります。

アトラシアン製品は「働き方」「チームのコミュニケーション」「開発プロセス」を改善します。我々は業務の生産性をいかに向上させ、どのように効率化が図れるか、アトラシアン製品を使ったお客様の業務改善を提案しています。今はアトラシアン製品も含め、業務改善に通じるソリューションを数多く提供しています。アトラシアン製品に、日本企業が必要とする機能をアドオンとして自社で開発も行っています。

4年前、アトラシアン製品で培ってきたプロセス改善のノウハウとコンテンツ管理を組み合わせることで新しい価値を生み出せるのではないかと考え、コンテンツ管理の事業を立ち上げました。デジタル変革の中で、単に文書管理をするだけではなくコンテンツを基軸としたビジネスプロセス改善の要望をいただくことが多くなってきました。例えば図面を管理されている製造業のお客様が持っているCADデータなどの管理です。こうした企業はサイズの大きなデータを保持しており、その活用・管理に困っています。そこで大容量のファイルを管理できるソリューションが必要だと感じたのです（図1参照）。一般的なWEBアプリケーションの多くは、ファイルのサイズが大きいと問題が発生することが多く、例えばレスポンスの低下や遅延、表示やダウンロードの問題がありました。

アトラシアン製品の中で足りないと感じていたのが、このコンテンツ管理の分野でしたので、コンテンツ管理に定評のある

1 オーストラリアのシドニーに本社を置くソフトウェア企業。ソフトウェア開発者を対象とした法人向けソフトウェアを開発している。



2016年にはPARTNER AWARDを受章

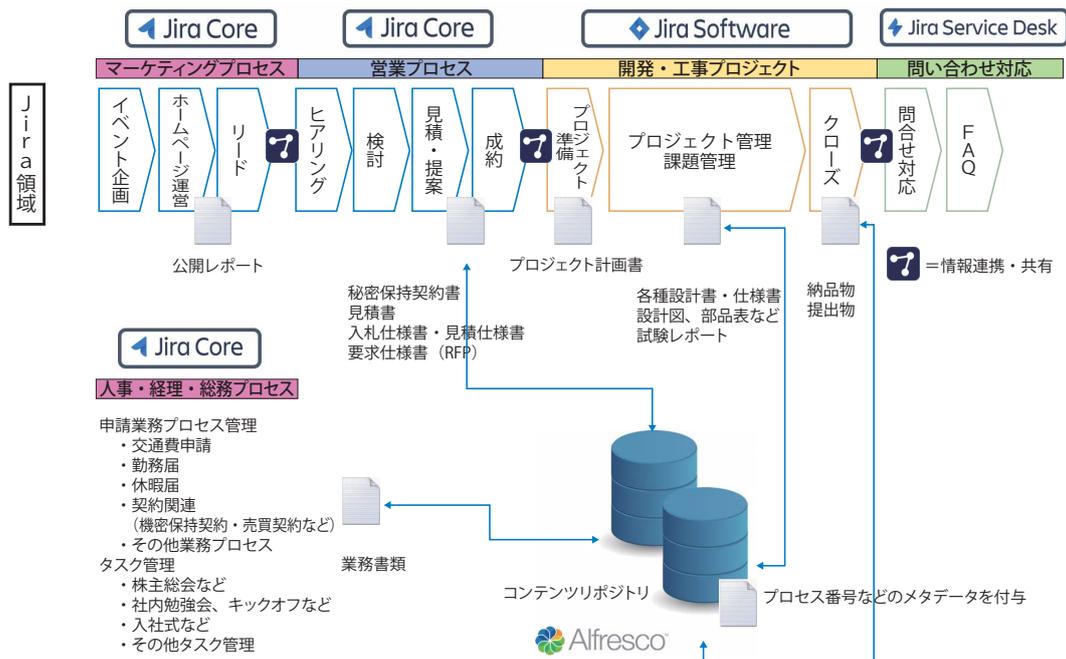


図1 JiraとAlfrescoによるプロセスとコンテンツの統合イメージ

Alfresco<sup>2</sup>を採用し、2014年にAlfresco社ともパートナー契約を結びました。2017年には元Alfrescoのエンジニアが入社したことで、その提案の幅は広くなり、引き合いも多くなってきています。最近では、金融・保険業や医療・医薬・ヘルスケア業、不動産関係にも導入の相談を頂いています。

### 将来を見据えた業務改善

多くの企業では、さまざまな業務において課題があります。その一つとして、俗人化した業務です。例えば人の判断による分類業務があげられます。業者やクライアントから届いたファイルを受け取った担当者が内容確認、判断、分類、タグ付け、振り分け、共有させるというような業務です。その個人のノウハウを必要とする業務は、担当者が仕事を休むことで業務が停止してしまいます。そのようなリスクもあるため、重要な任務を課している人には、企業は多くの報酬を与え、仕事を辞めてしまわないように手当を行います。しかしながら過度な費用負担を行っても業務停止リスクをぬぐうことはできません。このような業務をシステムで自動化できれば、担当者の業務の20～30%、場合によっては50%以上の改善が可能となります。改善されることで生まれた利益をシステム導入費などの投資に充てれば、さらに業務の改善が進むと思われます。システムの自動化は、俗人的に行われてきた見積書や請求書の振り分け業務などに効果を発揮します。メール添付などで送付されてくる帳票を、担当者が振り分けることなく、メールが届いた時点で、文書の情報を

読み取りその内容をもとにフォルダへ振り分ける。書類のパターンや会社名などの属性を判断、承認フローを開始するといった業務の半自動化ができるのと我々は考えています。これは最近話題になっているRPAの技術の活用によるものです。ルールに即して業務が行われている場合、AIやRPA技術によるデータの蓄積やコンテンツ管理で業務を改善することができるのです。

最近よく働き方変革の話題に労働人口の減少が取り上げられています。当社も含めて最近では社員の募集を行ったとしても求められる人材が少なく、また応募自体もあまり多くありません。このような状態からこれ以上、雇用への努力を行ったとしても得られる効果は少ないと考えています。つまり日本の企業は労働力が少ない状態で今後どのように生産性を維持・向上させ、成長することを考えていく必要があると思っています。当社はこのような問題に対し、上記のようなプロセス管理、AI・RPA技術、コンテンツ管理を組み合わせ対応していきたいと考えています。

### 新技術で音声・動画も

将来的にコンテンツ管理は、文書以外にも動画や音声のようなものも取り扱うようになってくると考えられます。例えば、車を写真で撮影したものをAIに通すことにより、車の車種を自動認識し検索用の情報を付与したうえで管理するといったことや、車のエンジン音を収集し、AIに認識させることによって、車のエ

2 オープンソースのエンタープライズコンテンツ管理 (ECM) 製品、コンテンツ管理システム。

ンジン故障の有無を判断し、修理依頼までできるようになることも可能なはず。コンテンツ管理には、将来的に活用するためのメタデータが多く付与されていくと考えており、これは人をどのように動かしていくかの指標にもなっていくと考えられます。



運用も強力にサポートし業務改善を目指します。  
カスタマーサービス部 部長  
大塚和彦氏

## 紙からの脱却をJIIMAに期待

今年5月にJIIMAに入会しました。きっかけは前職でオープンソースソリューションを扱うなかでAlfrescoの提供を行っていたこともあり、ECMの将来動向について知りたいと感じたからです。コンテンツ管理の方向性は今後どのようにしていくのか、情報を得、そして自分たちでもコンテンツ管理に対する考え方を発信していきたいと思いました。活動としてはECM委員会へ出席させていただいています。

JIIMAに期待したいことは、電子署名の普及です。未だ日本のハンコ文化が根強く残っており、紙文化からの脱出はできておりません。電子署名が普及されれば電子的に文書を取り扱うのが当たり前になります。世界との競争に負けないためにも、コンテンツ情報の完全性・可用性・機密性を担保したうえで、電子的に効率の良い業務を行うべきだと思うのです。

## 世界に負けない生産力を

これからも当社の強みである開発プロセスの効率化のノウハウやグローバルなビジネスフレームワークに対応したツールソ

リューションの提供をしていきたいと思っています。

組織の壁をなくしたプロセスで企業の生産性を向上させることが私たちの目指すところ。営業とマーケティング部門は仲が悪い、営業と開発部門は仲が悪いという事を聞きます。部署と部署に見えない壁がある場合、物理的にオフィスが離れている場合など業務がうまく回らないことが多々あります。当社はそれらをなくすためのコミュニケーション改善やプロセス改善を引き続き行います。

そして世界に負けない生産性をどのように作っていくのかを日本の企業に投げかけていきたいと思えます。そのためにも当社では、特定ソリューションに依存せず、解決するための最適なソリューション提案を追求してまいります。生産性の向上を実現して、企業や個人、家族や友人に至るまで笑顔でハッピーな日本社会に携わっていければ幸いです。

最後に、ECMという言葉はもはやなくなり、これからは「コンテンツサービス」になるとガードナーは言っています。これはシステムという閉ざされたイメージから、よりオープンなコンテンツのあり方が必要になってくるということから。当社は、このようなコンテンツサービスをどのように支えていくかを日夜研究し、提案し続けます。

# 企業財産である電子データを 安心・確実に長期保存する支援をします。

TiffやCADデータから直接35mm、16mmフィルムに変換し、OSに依存しない長期保存を保証します。



『正』の時代  
データ



ドキュメント・ソリューションカンパニー

株式会社 横浜マイクロシステム

〒220-0061 横浜市西区久保町13-25  
TEL 045-242-0695 FAX 045-242-0624

詳しい事例は、弊社ホームページからご覧下さい。 <http://www.ymsystem.com>